

道徳科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分との関わりで理解させるために、どのような工夫が見られるか。 ○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成するために、どのような工夫が見られるか。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題についてどのように取り上げ、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。 ○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような工夫が見られるか。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に即し、ねらいを達成する上で、どのような工夫が見られるか。 ○深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えるために、どのような工夫が見られるか。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実するために、どのような工夫が見られるか。 ○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習に関して、どのような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を喚起するために、読み物教材にはどのような工夫が見られるか。 ○効果的に活用するために、挿絵や写真、図などにはどのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の内容を把握しやすくさせるために、仮名遣いや用語などにはどのような工夫が見られるか。 ○主な記述（読み物教材など）と道徳科の内容項目との関係の示し方にはどのような工夫が見られるか。 	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名 項目</p>	<h1>新編 新しい道徳</h1>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○ねらいとする内容項目がぶれないようにするために、全ての教材の冒頭に学習のテーマが設定されている。教材末尾の発問と呼応させることで、教材の全体を通して道徳的価値の意義について考えを深めることができるよう工夫されている。 ○全ての教材に自己を見つめるための発問が用意されている。多面的・多角的に考える力を育むため、一つの事象について複数の立場から考えさせる教材が配置されており、対話を通して問題解決を図ることができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」「見つめよう」の問いの後に、「ぐっと深める」の問いがあり、人間としての生き方を考えられるよう工夫されている。また、教科書の巻末資料の心情円を活用することで、自分の気持ちを可視化できるよう工夫されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」や「情報モラル」について、イラストや漫画、グラフ等を活用した教材を通して、考えが深まるよう工夫されている。 ○各学年に「生命の尊さ」に関する教材を配置し、防災教育と道徳を合わせた教材が掲載されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○発達の段階を考慮して教材を配置することで、小学校との関連や学年間での連携を意識して取り組むことができるよう工夫されている。 ○各学年に、生徒が自分自身の成長と向き合い、思考が深まるよう教材の構成が工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○全ての教材に考えたことを記入できる「つぶやき」が設けられ、記述した内容を基に、話し合いなどに活用できるよう工夫されている。 ○生徒に身近な題材やソーシャルスキルに関する教材を通して、考えを深めたり、広げたりできるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○写真やポスター、グラフから考える教材や漫画を活用した教材、導入で教材の内容に関わる漫画や挿絵を見ながら考える教材など、多様な教材が掲載されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載され、教材の理解を促すよう工夫されている。 ○全ての教材に二次元コードがあり、朗読音声やデジタル心情円、教材の補足資料などを見ることができる。教材文と同じ内容の映像を視聴できる教材が掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。巻末で、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教材と関連したテーマをより深く広く考えられるよう、発達の段階に応じた内容で、日常生活や他教科と関連させて生かせるよう工夫されている。 ○巻末に設けられている心情円で、自分の考えを可視化できるよう工夫されている。</p>	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学道徳 とびだそう未来へ</h2>	<div style="text-align: center;">17 教出</div>
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材に設定された導入で学習の見通しをもち、道徳的価値を意識付けできるよう工夫されている。教材末尾の「学びの道しるべ」により、三つの問いを通して段階的に道徳的価値の意義について理解を深めることができるよう工夫されている。 ○巻頭には話し合いを進めるためのポイントや考えを深めるための学習過程や方法を例示し、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。また、教材末尾には思考を促す問いが設定されている。 ○教材末尾の「学びの道しるべ」の問いを通して、これからの生き方について考えを深められるよう工夫されている。巻末に『『よりよく生きる』って、どういうことだろう?』を設け、自分の成長を実感し、課題や目標が見つけれられるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」「情報モラル」「生命の尊さ」について、多様な教材を通して、様々な視点から問題の本質について考えを深めていくことができるよう工夫されている。 ○各学年に災害や防災を題材とした教材が掲載され、日々の生活の中で、安全への意識を高められるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての学年に発達の段階に応じた取り組みやすさを重視した教材が掲載され、考え、議論する時間がとれるよう工夫されている。 ○各学年に小学校との関連や学年間での連携を意識した教材が扱われ、生徒の思考が深まるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材に適宜記入欄を設けることで、自分の考えをまとめ、それを基に話し合う言語活動を充実させるよう工夫されている。 ○「やってみよう」の活動では、直前の教材に関連した体験的な学習を通して、学びが深められるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○考える時間を確保できる教材や、写真やポスター、グラフから考える教材、漫画や絵本を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載され、教材の理解を促すよう工夫されている。 ○全ての教材に二次元コードがあり、教材解説や補足資料、心情メーターなどをウェブサイトで見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。巻頭末に現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教材内容の理解がしやすい多様な教材が設定され、二次元コードから心情メーターを読み込むことで思考を可視化し、対話を促す工夫がされている。 ○ねらいとする道徳的価値について学べるよう「学びの道しるべ」が設けられている。 	

<p>書名 項目</p>	<p>中学道徳 きみが いちばん ひかるとき</p>	<p>38 光村</p>
<p>内 容</p>	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習過程が分かる「てびき」が設けられ、教材を通して何を学ぶのか意識ができるよう工夫されている。課題の設定や中心となる発問により、道徳的価値の意義や意味について考えを深めることができるよう工夫されている。 ○自己を見つめ、友達と話し合いながら自分の考えを深めていく重要性が分かる第一教材が設定されている。教材末尾に「考えよう」の発問とは視点を変えた「見方を変えて」を設け、多面的・多角的に考える力を育むことができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」の問いを通して、教材の学びのテーマを意識し、授業の最後にもう一度振り返ることができるよう工夫されている。「つなげよう」では、日常生活や他教科と関連して考えることを通して、自分の考えが深まるよう工夫されている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ」「情報モラル」について、生徒自身に関わる身近な問題を取り上げた教材を掲載するとともに、生徒が自ら問いを立て、考えられるよう工夫されている。 ○全学年に「防災」をテーマとした教材を掲載し、教材を通して過去に学び、生徒の防災意識を高められるよう工夫されている。 <p>＜発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての学年で学びのポイントを示し、生徒が発達の段階に応じて主体的に学ぶことができるよう配慮されている。 ○各学年に小学校との関連や学年間での連携を意識した教材が扱われ、生徒の思考が深まるよう工夫されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者との話し合いを通して、身の回りの当たり前を問い直し、新たな考えを生み出すことができるよう工夫されている。 ○対話を通して問題を解決するための段階を示し、道徳的価値に対する考えが深められるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やグラフから考える教材や漫画を活用した教材、自分の考えを書き込む教材など、多様な教材が掲載されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載され、教材の理解を促すよう工夫されている。 ○二次元コード付いている教材では、朗読音声や教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。巻末で、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の内容に応じて、「見方を変えて」や「つなげよう」で他教科や日常生活につなげて自分のこととして考えられるよう工夫されている。 ○協働的な学びが実現できるように生徒が自ら問いを立て、考える教材が設けられている。 	

書名 項目	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日 文</div>
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材の冒頭に「学びのキーワード」を明示し、見通しをもち主体的に学習に臨めるよう工夫されている。教材末尾の「自分にプラスワン」の発問を通して、学んだことを前向きに生かし、道徳的価値を自分との関わりで理解できるよう工夫されている。 ○巻頭に対話的・協働的な学習場面が例示され、多面的・多角的に考える力を育むことができるよう工夫されている。教材末尾の「考えよう」の発問を通して、人間としての生き方について多様な意見が出せるよう工夫されている。 ○別冊の道徳ノートが付属しており、年間を通して使用することで自分の成長が実感できるよう工夫されている。話合いの過程で自分や他の生徒の考えを記入することができ、広い視野から自己を見つめられるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての学年で「多様性の尊重」に関わる教材を掲載し、共生社会や人権教育、相互理解に関わる内容について、自他の尊重への意識を高められるよう工夫されている。 ○「いじめ問題」「情報モラル」「防災」に関する教材を複数配置し、考える機会を設けることで一人一人が自分事として捉えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年間で系統的・発展的な学習ができるように、各学年でテーマ（1年生「である」2年生「みつめる」3年生「ひらく」）が設定されている。 ○各学年に小学校との関連や学年間での連携を意識した教材が扱われ、生徒の思考が深まるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○話合いの手法や整理方法を示した教材を掲載し、対話的・協働的な学びが実現できるよう工夫されている。 ○「学びを深めよう」のページでは、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、考えを深めることで納得解を得られるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やポスター、グラフから考える教材や漫画を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。 ○教材の場面理解を促す大小様々な挿絵や写真が掲載されている。 ○全ての教材に二次元コードがあり、朗読音声や心情メーター、思考ツールを活用でき、補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○巻末で学習指導要領の四つの視点（学びのキーワード）や他教科・領域との関連が示されている。目次と巻末で現代的な課題等との関わりが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊の道徳ノートには自分の意見や話合いの内容を記入することができ、それらを通じて、自らの成長を実感し、協働的な学びを積み重ねられるよう工夫されている。 ○二次元コードを活用し、思考を可視化するツールを設けられている。 	

書名 項目	新版 中学生の道徳 明日への扉	224 学研
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「考えを深めるための4つのステップ」に、道徳的価値を自分との関わりで理解ができるよう、学びのヒントとして具体的な展開例を示している。テーマについて、自ら関心を持ち、学びが深められるよう発問が工夫されている。 ○巻頭に多面的・多角的に考えを深める方法の例示があり、話し合いを自己の生き方につなげられるよう工夫されている。「クローズアップ」に、教材に関連した様々な視点からの情報などを扱い、多面的・多角的に考える力を育むことができるよう工夫されている。 ○教材の後に適宜「深めよう」があり、対話的な活動を通して道徳性の育成につながるよう工夫されている。巻末には「未来への扉」を設け、1年間を振り返り、今年度の学びを次年度へつなげる工夫がされている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様性を大きなテーマとし、様々な視点で考えられる教材が掲載され、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。 ○「情報モラル」や「防災教育」、「いじめ問題」に関する教材を各学年で掲載しており、一人一人が自分事として考えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階や学校生活等における生徒の問題意識を尊重し、自ら考え、議論する時間の確保ができるよう教材の構成や発問が工夫されている。 ○同じ内容項目を扱う教材を通して、生徒が自分の成長と向き合い、生徒の思考が深まるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材に適宜書き込み欄を設け、気が付いたことや考えたことを記入することを通して、思考を整理できるよう工夫されている。 ○「考えを深める4つのステップ」として問題解決的な学習の手立てを示し、生徒が考えを深める学習過程が工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やグラフから考える教材や漫画や紙芝居を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。教材への関心や問題意識が高まる言葉が全ての教材の冒頭に記されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載され、教材の理解を促す工夫がされている。 ○二次元コードが付いている教材では、教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○目次と教材冒頭と巻末で、学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。目次や教材冒頭で現代的な課題等との関わりが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教材を基に考え、周りの人と話し合いながら自分のこととして多面的・多角的に考えを深められるよう、現代的な課題について議論できる手立てが提示されている。 ○テーマについて考えを深められるよう系統的な学習内容が設けられている。 	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学生の道徳</h1>	2 3 2 あか図
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ねらいがぶれないようにするために学習活動がイメージできる授業の流れを意識した発問が設定されている。教材末尾の「自分との対話」は、教材での学びを踏まえて、道徳的価値を主体的に考えられるよう工夫されている。 ○主体的な学びを促すための「自分を見つめて考える」と対話的な学びを促すための「いろいろな見方で考える」発問を通して、多面的・多角的に考える力を育むことができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えを深める」の問いを通して、自分の意見や考え方を更に深められるよう工夫されている。全ての教材に「自分との対話」を設け、教材での学びを踏まえて、自分自身や道徳的価値について問い直すことができるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生命尊重」と「いじめ防止」を最重要課題と位置づけ、学年ごとに複数の教材を設定している。「いじめ問題」は、3年間を通して、学びが深まるよう工夫されている。 ○「情報モラル」について、ネットいじめに関する内容について、様々な視点から考えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に応じて、学びを広げて思考が深まる構造になるよう教材の構成や発問が工夫されている。 ○各学年の教材では発達の段階に合わせて資料が配置され、生徒の思考が深まるよう工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年で「オリエンテーション」のページを設け、どんな内容をどのように学ぶのか、学年によって目的をもって学びに向かうことができるよう工夫されている。 ○「マイ・プラス」のページでは、役割演技や話し合いを取り入れて、生徒が様々な立場で想像したり考えたりできるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○読み継がれてきた教材や、写真やグラフから考える教材、漫画や詩を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。 ○教材を読み進める上で生徒の思考を促せるような挿絵や写真が掲載されている。 ○二次元コードが付いている教材では、教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○教材冒頭と巻末に、学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。巻末で現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題に向き合えるよう発達の段階に応じた教材の配置と、多面的・多角的に考えられる視点を持ち、学びを広げ、深められるよう工夫されている。 ○各学年に役割演技や問題解決的な学習、体験的な学習などができるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">道徳 中学校</h1>	2 3 3 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 科</div>
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容項目「4つの視点」を基に、発達の段階別にテーマを設けている。道徳的価値の理解のために、巻末の「ウェルビーイングカード」を活用し、自分との関わりについて考えられるよう工夫されている。 ○巻頭に道徳の授業の流れや今までの自分を振り返るページがあり、自己を見つめることができるよう工夫されている。「考えよう」を活用し、道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「深めよう」の問いを通して、自分の見方や考え方が変わったり深まったりすることが実感できるよう工夫されている。「ウェルビーイングカード」を活用することで、よりよく生きるための基盤となる資質を育成できるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報モラル」について、身近に起こりうるネットトラブルから、どう身を守るかを喫緊の課題と捉え、生徒にとって現実味のある教材が工夫されている。 ○「いじめ問題」については、学校生活の中で、「いじめ」に陥りやすい場面を掲載しており、生徒が自分事として捉えられるよう工夫されている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生は自己理解、2年生は自己啓発、3年生は自己実現について、それぞれのテーマに向き合う課題が設定されている。 ○教材の配置を工夫し、発達の段階や学校生活及び他教科との関連で、組み換えができるよう配慮されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者との話し合いを通して、当たり前を疑い、深く考えることができるような視点がもてるよう工夫されている。 ○「思考」を重視した授業展開へと転換をするために、自分自身への「問い」から、話し合いをもとに課題解決ができるよう発問が工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やグラフから考える教材や動画や漫画を活用した教材、自分の考えを書き込む教材など、多様な教材が掲載されている。 ○教材の場面理解を促す大小様々な挿絵や写真が掲載されている。 ○二次元コードが付いている教材では、教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。目次で現代的な課題等との関わりについて、様々なテーマで系統的に示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びに対応できるよう、各学年の巻末の「ウェルビーイングカード」を活用し、意見を伝え合える環境になるよう工夫されている。 ○社会的・文化的な多様性、多面性を意識した教材や話題の工夫がされている。 	

道徳科 調査資料 2

○総ページ数

※「日文」は、道徳ノートが別冊となっている。

※ 目録掲載
のページ数

学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
1年	202	209	191	178+42	190	194	163
2年	201	201	199	186+42	194	194	167
3年	201	201	199	194+42	198	194	171

○内容項目の配当数

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
自主、自律、 自由と責任	1年	2	2	2	2	2	4	2
	2年	2	2	2	2	2	4	2
	3年	2	2	3	2	2	4	2
節度、節制	1年	3	2	2	1	2	2	1
	2年	3	2	1	1	2	1	1
	3年	2	1	1	1	2	1	1
向上心、 個性の伸長	1年	1	2	1	2	1	1	1
	2年	1	2	2	1	1	1	1
	3年	1	2	2	2	1	1	2
希望と勇気、 克己と強い意志	1年	1	1	1	1	2	2	2
	2年	1	1	1	2	1	2	2
	3年	1	1	2	1	1	2	2
真理の探究、 創造	1年	1	1	1	1	1	1	2
	2年	1	1	1	1	2	1	1
	3年	1	1	2	1	2	1	2
思いやり、感謝	1年	3	3	3	2	2	3	2
	2年	2	2	1	2	2	3	2
	3年	2	1	1	2	2	3	2
礼儀	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1
友情、信頼	1年	2	2	1	2	3	3	2
	2年	3	2	3	2	2	3	2
	3年	2	2	1	2	2	2	2
相互理解、寛容	1年	2	2	2	2	1	2	2
	2年	2	2	3	2	2	1	1
	3年	2	2	3	2	2	1	2
遵法精神、 公德心	1年	2	1	3	2	2	3	2
	2年	2	2	3	1	2	2	2
	3年	2	1	2	2	2	2	2
公正、公平、 社会正義	1年	2	2	3	2	2	3	2
	2年	2	2	3	2	1	3	2
	3年	3	2	3	2	2	3	2
社会参画、 公共の精神	1年	2	1	1	2	1	2	2
	2年	2	2	1	2	2	1	2
	3年	3	3	1	3	2	1	1
勤労	1年	3	1	1	1	1	1	1
	2年	2	1	1	2	1	1	1
	3年	2	1	1	2	1	1	2
家族愛、 家庭生活の充実	1年	1	2	1	1	1	3	1
	2年	1	1	1	1	1	2	2
	3年	1	1	1	1	1	3	2
よりよい学校生 活、集団生活の 充実	1年	1	1	1	1	2	1	1
	2年	1	1	1	1	2	2	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1
郷土の伝統と文 化の尊重、郷土 を愛する態度	1年	2	2	1	2	1	1	1
	2年	1	2	1	1	1	1	1
	3年	1	1	1	1	1	2	1

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	2	1	1	2	1	2	2
	3年	1	2	1	1	1	1	1
国際理解、国際貢献	1年	1	1	1	2	2	1	2
	2年	2	2	1	2	1	2	2
	3年	3	1	1	2	2	1	2
生命の尊さ	1年	3	3	3	3	3	3	2
	2年	3	2	3	3	3	3	2
	3年	3	2	3	3	3	5	1
自然愛護	1年	2	1	1	2	1	1	1
	2年	1	1	1	2	2	1	1
	3年	1	3	1	1	1	1	1
感動、畏敬の念	1年	1	1	2	2	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1
	3年	2	2	1	1	1	1	1
よりよく生きる喜び	1年	2	2	2	1	2	3	2
	2年	3	2	2	2	2	4	2
	3年	2	2	2	2	2	3	1
※ その他	1年	0	0	2	0	0	2	1
	2年	0	0	2	0	0	2	1
	3年	0	0	2	0	0	2	1

※「その他」の数は、内容項目が示されていない教材数を表す。

○教材総数に占める四つの視点ごとの割合

視点	学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
教材総数	1年	39	35	37	36	35	45	35
	2年	39	35	37	36	35	44	35
	3年	39	35	37	36	35	45	35
A 主として自分自身に関すること	1年	21%	23%	19%	19%	23%	22%	24%
	2年	21%	23%	19%	19%	23%	20%	21%
	3年	18%	20%	27%	19%	23%	20%	26%
B 主として人との関わりに関すること	1年	21%	23%	19%	19%	20%	20%	21%
	2年	21%	20%	22%	19%	20%	18%	18%
	3年	18%	17%	16%	19%	20%	16%	21%
C 主として集団や社会との関わりに関すること	1年	38%	34%	35%	39%	37%	38%	38%
	2年	38%	40%	35%	39%	34%	39%	44%
	3年	44%	37%	32%	42%	37%	36%	41%
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	1年	21%	20%	22%	22%	20%	20%	18%
	2年	21%	17%	19%	22%	23%	23%	18%
	3年	21%	26%	19%	19%	20%	24%	12%

※ %は、当該学年の教材総数に占める割合を表す。（端数処理のため、合計が100%にならないことがある。また、一つの教材において視点が複数にまたがり両方の視点でカウントしている場合や、教材の内容項目が示されていない場合があるため、合計が100%にならないことがある。）

○各学年で取り上げている題材延べ数に占める題材ごとの割合

題材	学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
題材のべ数	1年	123	68	75	78	68	54	37
	2年	109	66	74	84	84	54	41
	3年	105	49	61	95	73	57	36
生命の尊厳	1年	6%	9%	8%	9%	10%	9%	8%
	2年	7%	11%	4%	8%	8%	9%	5%
	3年	4%	10%	5%	16%	7%	16%	8%
社会参画	1年	20%	16%	5%	10%	7%	11%	16%
	2年	10%	18%	9%	8%	8%	15%	15%
	3年	15%	31%	10%	14%	5%	14%	14%
自然	1年	6%	7%	5%	6%	3%	4%	8%
	2年	5%	5%	7%	8%	5%	9%	7%
	3年	3%	10%	3%	5%	3%	9%	6%
伝統と文化	1年	5%	9%	9%	9%	4%	6%	5%
	2年	3%	5%	12%	10%	5%	7%	5%
	3年	4%	10%	10%	6%	8%	9%	6%
先人の伝記	1年	2%	4%	0%	3%	0%	0%	5%
	2年	6%	8%	1%	4%	4%	1%	5%
	3年	6%	4%	0%	6%	3%	4%	6%
スポーツ	1年	2%	3%	1%	4%	7%	7%	3%
	2年	5%	3%	0%	6%	7%	9%	2%
	3年	5%	2%	0%	4%	8%	7%	3%
現代的課題等	1年	30%	34%	45%	47%	32%	31%	46%
	2年	27%	32%	26%	48%	26%	22%	46%
	3年	30%	20%	30%	39%	30%	25%	50%

※ %は、当該学年で取り上げている題材延べ数に占める割合を示す。

※ 現代的課題等： いじめ、情報モラル、消費者教育、防災教育、食育、人権、環境など

○QRコードの数について

題材	学年	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
QRコードの数	1年	47	55	31	46	14	13	28
	2年	47	58	27	46	13	17	24
	3年	46	52	27	46	12	17	16